

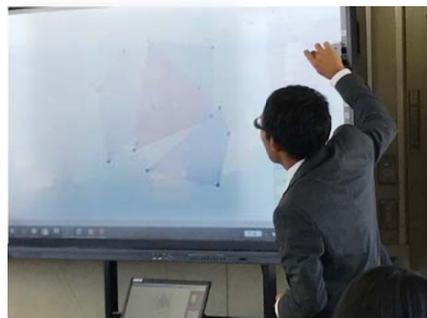
授業の様子

今回の授業のポイントは、アンケート機能を使った中間考査の振り返りと関数グラフソフトを用いた立体図の提示です。アンケート機能で問題を解く際の思考の振り返りをさせた後、関数グラフソフトを用いて立体図をあらゆる角度から確認して解説を行いました。

1 導入



アンケート機能を用いて、クラス全体で定期考査のポイントを共有しました。「定期考査の問題を解くときに、問題文にチェックをつけながら解いたか」「図形を様々な視点で見ることができたか」など、問題を解く際の要点を確認しました。



立体図をどう展開して答えを導き出すのか、図を動かしながら考え方を示します。

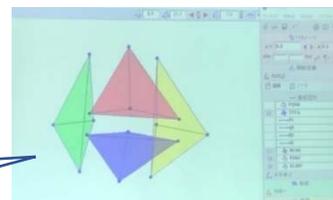
2 展開

生徒は、1人1台端末に配信された問題解説を確認しながら、テストの問題を解きなおします。

先生は、生徒の様子を確認しながら、必要に応じてヒントを示します。生徒が、問題を解き終えたタイミングを見計らって、再びペアワークで問題の解き方を協議する時間を設けます。



正答率が低かった問題は、ペアワークで協議させます。

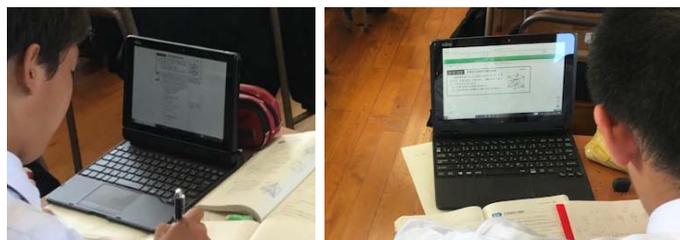


回転しています

生徒の思考を助けるため、動画を提示します。



「定期考査に、この問題の別解のヒントがあるの、分かるかな」の問いかけに、思わず顔を見合わせて、話し合いを始める生徒。



取り組んだ問題の結果をもとに類題を解く時間。使用するデジタル教材では、生徒一人一人の理解度に応じた問題が提示されます。

3 まとめ



生徒たちが別解のヒントを見つけると、先生はそのヒントを用いて解き方を解説しました。正四面体を2つの同じ三角錐に分けて考える方法を関数グラフソフト上の立体図を用いて示すと、生徒達は驚きつつも、先生の解説に熱心に聞き入っていました。

黒板に描かれた図だけでなく、電子黒板に提示された「動く」立体図をいろいろな角度から確認できるので、実際に三角錐を手を持っているような感覚で生徒たちの理解も一層進みます。

一斉指導でポイント確認

個別学習

班別学習(ペア活動)

一斉指導で再確認

本時のまとめ